

2019年8月3日 ~ 2019年8月9日

2019年8月14日

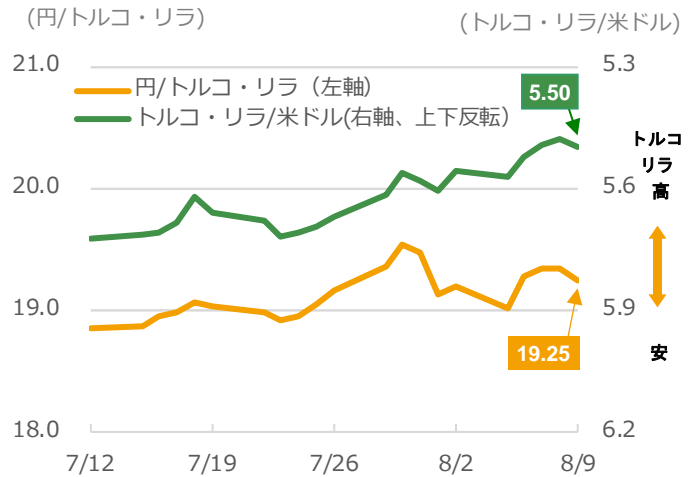
先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は、週明けから米中対立の激化懸念が高まる中でトルコ・リラは上下に振られました。その後は落ち着きを取り戻し、1週間を通してみると、対米ドル・対円ともに上昇しました。7月のCPI（消費者物価指数）は市場予想を下回り、国債金利はインフレ率の鈍化を受けて低下しました。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年7月12日~2019年8月9日)



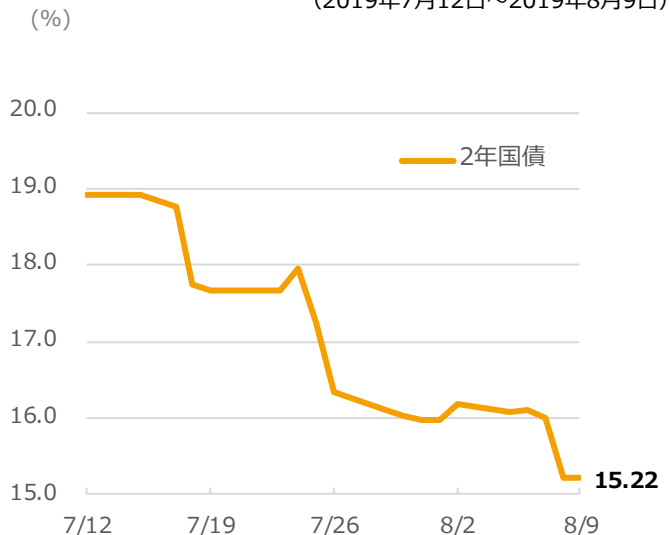
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

今週の見通し

今週は、週明けは香港のデモ激化やイタリアの政局不安、アルゼンチン大統領予備選挙の結果を材料にリスク回避的な動きが進み、変動幅の大きい相場展開となっています。トルコ国内では失業率や鉱工業生産などの経済指標が発表されますが、休場の日が多いため、市場の流動性が低下する中、トルコ・リラは引き続き市場のリスクセンチメントや値動きに注意が必要だと考えています。

トルコ 金利推移

(2019年7月12日~2019年8月9日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。